


市長のタウンミーティング 西布施地区

(敬称略)

	開催日時	平成29年11月10日(金) 19:00~20:30	
	会場	西布施公民館	
	参加人数	21名	
	開会挨拶 書記	西布施地域振興会長 佐々木和允	書記 宮本健吾

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	西布施	まちづくり	西布施分団詰所も西布施交流館に隣接した場所へ移転していただきたく要望します。
2	西布施	まちづくり	長引野、布施爪あたり、家並みを過ぎたあたりからは、融雪装置がありません。通学路の除雪の方をお願いします。
3	西布施	教育環境	布施谷節をやっておりますが、学校統合で子どもたちに傳承することが大変難しくなっています。皆で傳承していきたいと思っていますので、応援してください。
4	西布施	まちづくり	労災病院のPETについて、年金生活者にとって約4万円の負担は高いので、2万円程度の負担にしていだけないでしょうか。また、PETの検診を魚津市の方がどれだけ受けているのか知りたいと思います。子育て等には施策が手厚いですが、老人の政策には力が入っていないと思います。企業なども受診に補助を出してはどうか。
5	西布施	まちづくり	人間ドックへ行きますが、3分間で身体の悪いところが全部分かって1,080円ということが書いてありました。ただし1日3人しかできないとのことでした。
6	西布施	まちづくり	先日の雨で、長引野地区の用水がオーバーフローしました。もう少しで水路設備自体が損壊する状況でした。私が知るだけで同じ場所で3回目となります。用水の壁をかさ上げ又は水路幅を広げていただけないかと思っています。

平成29年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	西布施地区	日時	11月10日(金) 19時00分より 20時30分まで	参加者数	21名
会場名	西布施交流館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	社会福祉課 宮本 健吾
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画総務部長 川岸 勇一 企画政策課長 赤坂 光俊 ほか	地区からの主な参加者	地域振興会長、市議、区長等		

1. あいさつ

佐々木地域振興会長

2. 市長談話

村椿市長

魚津市の現状、「子育て」「教育環境」「まちづくり」について

- 「第48回衆議院議員選挙の投票率」について
- うおづのうまい水モンドセレクション最高金賞受賞報告
- 人口について
 - ・魚津市の現状
- 子育てについて
 - ・安心して産み育てる環境の整備
 - ・仕事と家庭の両立等
 - ・経済的負担の軽減
- 教育環境について
 - ・小学校英語教育の推進
 - ・教育用ICT環境整備
 - ・通学の安全、安心対策
 - ・ふるさと教育の推進
- まちづくりについて
 - ・定住、空家対策
 - ・道路維持管理
- 災害に強いまちづくりについて
 - ・ハード対策
 - ・防災力の向上
- 健康寿命の延伸について
 - ・食による健康づくり

3. 意見交換（地区からの振興策等の提言・提案等について）

○西布施分団詰所の移転について（まちづくり）

西布施分団詰所は老朽化が進み、西布施公民館も取り壊されれば、駐車場も無くなります。現在、何かあれば住民は西布施交流館に集まるので、西布施分団詰所も西布施交流館に隣接した場所へ移転していただきたく要望します。

（村椿市長）

一度詰所を見に行ってみなければと思っています。昭和54年に建設ということで、相当年経過していると思います。そのような意味でも、お話にも意味があると思っています。しかし、すぐにと言われると辛いのです。西布施公民館を解体するだけで数千万かかります。もう少し時間をいただいて、詰所の建て替え時期等を見定めてから、検討させていただければと思います。

時間は良いのですが、継続していくときは毎年要望していかなければなりません。補足ですが、今まで詰所で何か行事があるときは、民家の近くであるためかなりの迷惑をかけていました。交流館に隣接すれば、土地も広く使いやすいです。消防団もボランティアも張り切っており、火事も少ないのは、夜の見回りのおかげだと思っています。すぐにとは言わないので、忘れないでください。

○融雪装置の増設について/伝統文化の伝承について（まちづくり・教育環境）

これから寒い時期に入ります。長引野、布施爪あたり、家並みを過ぎたあたりからは、融雪装置がありません。朝8時前後は道路状況が悪く大変です。交流館では学童もしています。スクールバスは運転手一人でやっていますが、子どもたちにシートベルト等の徹底をさせるのは難しい現状があります。この8月、夏休みのプールの時期、急ブレーキの際に子どもが倒れたこともありました。これから雪道になります。通学路の除雪の方をお願いします。

また、私は布施谷節をやっておりますが、学校統合で子どもたちに伝承することが大変難しくなってきました。とは言いましても魚津市の無形文化財に指定されていますので、伝えて行こうと努力しておりますが、思うように進みません。市長の使用されたスライドに布施谷節や小川寺の獅子舞が無く残念でした。21年に西布施小が富山県のふるさと賞をもらっています。布施谷節は保育園から教えていますが、小学校に入りその文化にふれ、自分の子どもにも教えてあげたいという作文が賞をとった一因にもなっています。皆で伝承していきたいと思っていますので、応援してください。

（村椿市長）

先ほども言ったように、子どもたちの通学環境の安全性を高めるという方向性をもっていきます。融雪装置については事業費の関係もありますので時間がかかることもあるかも知れませんが、通学の危険性を少しでも取り除くという姿勢でがんばります。

布施谷節も小川寺の獅子舞も見させていただき、素晴らしいものだと感じました。他の地域でも、統合に伴って伝承の場が物理的にはあるが、難しくなったという声がありました。魚津の地域の伝統文化をしっかりと守って行く取り組みを応援したいと思っています。

少し変わったのは、学校という核が無くなったため、文化を教える際に、学校に頼れなくなったところです。地域と市が協力して伝承の場を作っていないと、なかなか難しい思っています。伝統文化を守る取り組みを応援する仕組みを考えたいと思います。それぞれの地域の文化を未来に残して行くのは本当に大事でまちづくりと同じだともっています。

OPET 受診の補助について（その他）

労災病院の PET は 2 万円の補助があり、個人負担が 39,400 円ある。年金生活者にとって約 4 万円の負担は高いので、2 万円程度の負担にしたいだけではないでしょうか。検診等は恐ろしい面があるので、PET に行けば 1 度で済みます。また、PET の検診を魚津市の人がどれだけ受けているのか知りたいと思います。

子育て等には施策が手厚いですが、老人の政策には力が入っていないと思います。

（村椿市長）

手元のデータではどれだけの人が受けていて、どれだけ市が負担しているのかは分かりませんので、調べてみます。もちろん少しでも安ければ良いと思いますが、一方で、安くなった分は皆さんの税金で負担することになりますので、最終的にはその合意が得られるか、市議会で議論することになります。この場でお答えすることはできませんが、調べた結果は会長さん等を通じてお伝えしてもらいますので、ご理解ください。

（川岸部長）

PET 非常に高額であり、導入の際は、市が助成をしたため、魚津市民は 2 万円割引で受けることができるという経緯があります。

企業なども受診に補助を出してはどうか。私たちも 50 代になると、少しずつ病気も出てくる。先ほどの癌死亡率の原因も、受診率が低いからだとも思います。受診率を上げれば、死亡率も減るかも知れません。受けやすい環境づくりをされればと思います。4 万円というお金はかなり高いと思います。

（川岸部長）

会社にお勤めの方はその半分ほどの負担になっているはずですが、ご高齢の方はそのまま 4 万円となります。

会社で「癌検診受けに行った、PET 受けに行った」という人がいるかと言うと、そんなにいないと思います。もっと行きやすいような大胆な補助があると、皆強制ではないですけれども、行きやすくなると思います。魚津市の特徴にすればよいと思います。

魚津市民はお金に厳しいので、受診率が低いのではと思います。

今度主人が 11 月に人間ドックへ行きますが、3 分間で身体の悪いところが全部分かって 1,080 円ということが書いてありました。ただし 1 日 3 人しかできないとのこと。

（村椿市長・川岸部長）

それも調べてみたいと思います。

○用水路の整備について（まちづくり）

五か村要請（通称長引野要請）というのがありまして、大沢、黒沢、長引野、布施爪、小川寺で、受益面積何十町歩あります。椎名道三かその弟子が開いた高台の用水がずっとこけてしまうと、飯の食い上げとなります。これには市、県、国から大変なお金を投入していただいております、感謝しております。

つい先日の雨で、長引野地区の用水がオーバーフローしました。もう少しで水路設備自体が損壊する状況でした。私が知るだけで同じ場所で3回目となります。土地改良区に相談しておりますが、災害は現状復旧となりますので、また同じことが起こります。用水の壁をかさ上げ又は水路幅を広げていただけないかと思っています。この場所は水路の勾配が一番緩い場所であり、少しカーブしています。そこがずっとこけると、復旧まで田んぼの水が使えないなどの被害が出ると思います。

大沢から黒沢の間の水量が大変多い。沢から流れ出る水は、用水が受け皿になっています。現在はさんぷくおくれになっておりまして、水路が立派でどこもあふれません。大沢の集落から黒沢までの中間あたりに、大きな谷（かんじゃだん）があります。黒沢に入るまでに、水を全て水路に落ととしています。しかしそれでも、申し上げましたように大沢から黒沢に入るまでに膨大な水量が流れ込みます。黒沢集落へ入る前に、その水もかんじゃだんへ落とせるような水門などを設置していただければ、黒沢の住民も助かる、長引野も助かる、農地もうまくいくと思います。そのような事業をお考えいただきたいと思います。

現在、長引野地区では、農地水うんぬんという市の補助をいただいております。そのような補助金をいただいている間は、他の補助金を受けられないという関係もあるかも知れませんが、ご検討いただきたいと思います。

（村椿市長）

昔は土地改良関係の事業をしていたので、昔の制度は知っているのですが、また県庁の同僚にも聞いてみたいと思います。おそらく様々な制度のしぼりの中でうまい手が無いので現在の状態となっていると思いますので、聞いてみたいと思います。